

【達成状況に関する評価基準】※運営に関する計画の評価基準と同じ

A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した

C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

【別紙1－基本配付用】

令和元年度 校長経営戦略支援予算【基本配付】実施報告書

(校園コード)

※校園コードを入力してください。

学校名

※学校名は校園コードを入力すると自動で表記されます。

取組に対する評価状況

学校関係者による評価実施済

1 配付額 円 → 決算額 円

2 配付上限額

学校配当		学級数		特別支援学級数		学級配当
<input type="text" value="350,000"/>	+	<input type="text" value="18学級"/>	+	<input type="text" value="7学級"/>	×	<input type="text" value="50,000"/>
※カッコ内に学級数を入力してください。色付きセル部分は自動計算されます。						
配付上限額						
=	<input type="text" value="1,600,000"/>					

3 年度目標(予算反映するもののみ記載)

＜全市共通目標＞

①令和元年度の小学校学力経年調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を、前年度より増加させる。

＜学校の年度目標＞

②令和元年度末の教育アンケートにおいて、「授業はよくわかる」の子どもの「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える割合を85%以上にする。

③令和元年度末の教育アンケートにおいて、「自分で考えて、自分から動くことができています」の子どもの「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える割合を85%以上にする。

目標に対する達成状況(取組完了時)

①令和元年度の小学校学力経年調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合が前年度65.6から今年度70.6と増加した。

②令和元年度末の教育アンケートにおいて、「授業はよくわかる」の子どもの「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える割合が93%となった。

③令和元年度末の教育アンケートにおいて、「自分で考えて、自分から動くことができています」の子どもの「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える割合90%となった。

達成

B

4 年度目標達成に向けた取組内容(予算反映するもののみ記載)

①授業を「教える」から「学ぶ（促す）」に変革していくために、「子どもが学ぶ・子ども同士が学び合う」の授業に取り組む。

②学年に応じた「体験活動」を通じて、「学びに向かう力」の育成を図る。

5 年度目標に対する進捗状況を測る指標

①「学び合い」のスペシャル講師（東京大学の小国教授）を年4回招聘した授業研究ならびにみんなでつくる研究体制（一人一授業公開）の充実を図る。

②教育アンケートにおいて、「学校の授業などで、学級の友達との間で、話し合う活動をよく行っている」の肯定的な回答をする割合を85%以上にする。

③教育アンケートにおいて、「授業はよくわかる」の肯定的な回答をする割合を85%以上にする。

指標に対する達成状況(取組完了時)

①「学び合い」のスペシャル講師（東京大学の小国教授）を年3回招聘した授業研究ならびにみんなでつくる研究体制（一人一授業公開）の充実を図ることができた。

②教育アンケートにおいて、「学校の授業などで、学級の友達との間で、話し合う活動をよく行っている」の肯定的な回答をする割合が96%となった。

③教育アンケートにおいて、「授業はよくわかる」の肯定的な回答をする割合が93%となった。

達成

B

※事業効果は必ず数値目標を設定のうえ、進捗状況を測ることができる内容としてください。

6 昨年度からの改善点など ※自由記入

「子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組」においては、引き続き「学び合い」の授業づくりについて研修や実践を深める。講師としては小国教授（東京大学）に継続して指導を仰ぎながら、「学び合い」の実践に向けて、互いの授業を交流できた。「学び合い」を通して、「しんどう子に寄り添った授業づくり」や「主体的・対話的な深い学びの実現」に向けて研鑽できた。「自分で考えて、自分から動く」ことができる子どもの育成をさらに深めていく。

【裏面に続く⇒】

7. 取組内容・予算内訳

(1)取組内容【施策番号 施策名】				委員会使用欄	達成
【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】					B
・「子どもが学ぶ・子ども同士が学び合う」授業実践の研究					
①予算内訳					
8-1	ICT支援 講師謝礼金（助手相当）	@4,300×210時間=903000	+交通費39200=942,200円		
	保健指導 講師謝礼金（准教授相当）	@6,200×5時間	=31,000円		
	学び合い 講師謝礼金（大学教授）	@7,100×24時間	=170,400円		
			合計1,143,600円		
②決算内訳					
8-1	ICT支援 講師謝礼金（助手相当）	@4,300×210時間=903000	+交通費39200=942,200円		
	保健指導 講師謝礼金（准教授相当）	@6,200×5時間	=31,000円		
11-1	指導書		310,200円		
	PPC用紙（A4）	@2,365×3箱	=7,095円		
	PPC用紙（B4）	@3,520×3箱	=10,560円		
			合計1,301,055円		
(2)取組内容【施策番号 施策名】				委員会使用欄	達成
【施策3 地域に開かれた学校づくり】					B
校内体験学習の実施					
①予算内訳					
8-1	3年昔あそび体験（助手相当）	@4,300×1時間=	4,300円		
11-1	3年昔あそび体験（材料費）		20,500円		
			合計24,800円		
②決算内訳					
8-1	3年昔あそび体験（助手相当）	@4,300×1時間=	4,300円		
11-1	3年昔あそび体験（材料費）		13,826円		
	2年ダンス体験	@165×101個=	16,665円		
14-1	6年琴体験		20,000円		
			合計54,791円		
(3)取組内容【施策番号 施策名】				委員会使用欄	達成
【施策3 地域に開かれた学校づくり】					B
校外体験学習の実施					
①予算内訳					
12-1	2年住之江公園車庫見学交通費	児童@280×99=27,720円	引率@560×5=2,800円	=30,520円	
	3年環状線 交通費	児童@296×122=36,112円	引率@592×8=4,736円	=40,848円	
	4年下水処理場 交通費	児童@192×94=18,048円	引率@384×5=1,920円	=19,968円	
	4年大阪市立科学館 交通費	児童@224×94=21,056円	引率@448×5=2,240円	=23,296円	
	5年ハグミュージアム 交通費	児童@224×98=21,952円	引率@504×5=2,520円	=24,472円	
	6年歴史博物館 交通費	児童@336×96=32,256円	引率@672×5=3,360円	=35,616円	
14-1	3年阿倍野ハルカス展望台 入場料	児童@360×122=43,920円			
	4年プラネタリウム 入場料	児童@280×99=23,760円			
	5年ハグミュージアム 入場料	児童@280×99=39,200円			
				合計281,600円	
②決算内訳					
11-1	5年ハグミュージアム 材料費	児童@400×96=38,400円			
12-1	3年環状線 交通費	児童@302×119=34,132円	下見・引率 6,378円	=40,510円	
	4年住之江消防署 交通費	児童@192×87=16,704円	下見・引率 1,756円	=18,460円	
	4年大阪市立科学館 交通費	児童@224×89=19,936円	下見・引率 4,464円	=24,400円	
	5年ハグミュージアム 交通費	児童@224×94=21,056円	下見・引率 2,844円	=23,900円	
	6年歴史博物館 交通費	児童@300×92=27,600円	下見・引率 5,140円	=32,740円	
14-1	3年阿倍野ハルカス展望台 入場料	児童@360×119=42,810円			
	4年プラネタリウム 入場料	児童@240×94=22,560円			
				合計243,780円	
(4)取組内容【施策番号 施策名】				委員会使用欄	達成
【施策2 道徳心・社会性の育成】					D
・芸術鑑賞の実施					
①予算内訳					
13-0	公演委託料（観劇）	150,000円			
②決算内訳					
実施せず。					

※ 取組内容・予算/決算内訳欄が足りない場合は適宜追加してください。
 委員会使用欄は空欄としてください。